



すぐ目の前で伸びやかな歌声に聞き入る園児

幼少期から本格的な音楽に接することで豊かな感性を育てる

## 「本物に触れて欲しい」さゆり幼稚園で親子コンサート開催

さゆり幼稚園で8月27日、園児と保護者約80人が参加して、「親子コンサート」(同園子育て支援事業)を開催した。

参加者は、童謡など23曲の伸びやかな歌声に聞き入り、拍手を送っていた。

**HighLight**  
今月の注目 **2**



▲元気よく歌に合わせて手をたたく園児

### 親子で楽しい夏休みを演出

本事業は、幼少期に本格的な音楽に接することで、豊かな感性を育てることを目的に、さゆり幼稚園子育て支援事業として年一回開催しています。

同園教諭の松下のぞみさん(徳山区)と声楽仲間西野真理さん(石川県在住)が華やかなドレス姿で歌い、奥田和さん(東京都在住)がピアノを弾きました。「夏のうた」「虫のうた」「動物のうた」など童謡を中心に23曲を披露しました。

伸びやかな歌声が会場に広がると、園児たちは静かに聞き入り、一緒に歌う場面では元気よく歌い、コンサートを楽しんでいました。



▲写真⑤奥田さん、④松下さん、⑥西野さん



▲インタビューを体験する林さん

**常葉学園大の林さんが取材体験**  
当日は常葉学園大教育学部心理教育学科3年の林三貴さんが、インターンシップで訪れており、役場企画課広報情報室で職場体験を行いました。親子コンサートの写真撮影からインタビューまでの取材全般を体験してもらい、親子コンサートの記事をも町ホームページに更新するまでを体験しました。



上岸稲荷神社赤鳥居会は現在33人で構成

京都・伏見稲荷大社の参道に赤鳥居が並ぶ風景を目指し、平成19年に発足

## 上岸稲荷神社参道に「赤鳥居」を区民有志で制作、計13基に

上岸稲荷神社赤鳥居会は9月1日、上岸区にある稲荷神社参道に赤鳥居2基を建て替え、町内外からの集客のため、屋号入りの案内看板を設置した。地区の名所としてPRすると共に、地区の活性化を目指す。

**HighLight**  
今月の注目 **3**

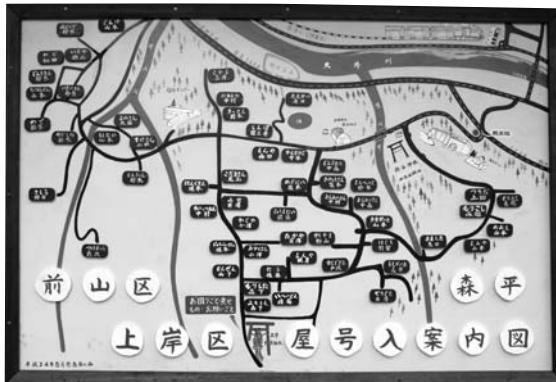


まずはチャレンジしてみた  
「みんなできつくつってみよう」の一声で動き出しました。会員による完全直営で制作。  
会員所有の山から杉を切り出し、製材所に頼らず、皮むきや刻み、建造までの全工程を、元大工職人の指導で平成19年から会員が行っています。5年が経過し、現在では13基が制作され、経年劣化による損傷が激しいものを修復したり、朱色に塗り直したり、保全にも力を入れています。  
赤鳥居は地上高約2.5m、幅約2m、柱の太さは20cmの大きさ。京都・伏見稲荷大社の参道に赤鳥居がずらりと並ぶ風景を目指し同会は発足。約3m間隔で並ぶまてになりました。



「せっかくだから、ぜひ来てもらいたい」と地区の名所までの案内看板を手作りで制作。アルミ板に間伐木材を利用した「屋号入り住宅板」を取り付けました。案内看板は国道362号・本川根B&G海洋センター入り口に設置しており、一見の価値があります。

「屋号入り」案内看板を設置し、地区の活性化を目指す



▲屋号を用いたユニークな案内図

